

活動プログラム

団体名（特定非営利活動法人子ども達の環境を考えるひこうせん）

1. 事業内容

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 子どもたちの生活習慣や学習習慣の確立に関する活動 |
| <input type="checkbox"/> 不登校（傾向）児童生徒対象の体験活動 |
| <input type="checkbox"/> 自然体験、生活体験、社会体験に関する活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援に関する活動 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 地域課題の解決に関する活動 |
| <input type="checkbox"/> 地域人材の育成に関する活動 |

※複数選択可

2. 活動プログラム名

「こどもまんなか社会に向けて
～はじめの100か月の育ちビジョン実践プログラムの開発～」

3. 目標（ねらい）

「はじめの100か月」である子育て世帯と若い世代や地域の人々が共にビジョンを共有し、ふれあいを通して、子育てを前向きに捉えたり、地域全体で子どもの育ちを応援していくことの大切さを実感する。

4. 活動計画 ※対象者の活動及び活動実施に向けた研修会等を記載してください。

回	★目標 ・活動内容・対象・参加者人数・スタッフ人数・会場等	◆目指す参加者の姿 (評価方法)
第1回	<p>★子どもをとりまく様々な立場の方が、こどもまんなか社会の実現に向けた「はじめの100か月ビジョン」について知り、実際に赤ちゃんやその親とかかわる体験をすることにより、其々が日常生活の中で自分にできる一歩を考え、自分を含め周囲の人々の行動変容の可能性について考える事ができる</p> <p>○活動内容</p> <p>話題提供『赤ちゃんをお世話してみませんか?』</p> <p>赤ちゃん親子を中心に、中学生・高校生・大学生・地域の方など、様々な世代が集まって交流し、みんなで100か月ビジョンを理解し交流する機会をつくる。</p> <p>○対象：</p> <p>中学生、高校生、大学生、乳児と子育て中の保護者、 地域住民、子育て支援者など</p> <p>○参加者人数：親子6組</p>	<p>◆「こどもの誕生前から幼児期まで」は、人の生涯にわたるウェルビーイングの基盤となる最も重要な時期であることを知り、全世代のすべての人が、子どものウェルビーイング向上を支えていくことの重要性を理解する（プログラムを通しての声の聞き取り、当日アンケート）</p>

	<p>多世代（学生、地域住民など）9名</p> <p>○スタッフ人数：4名</p> <p>○開催時期：令和7年8月8日（金） 10:00～12:00（受付9:50）</p> <p>○会場：ふれあい交流拠点「くるみの森」 伊部東コミュニティハウス</p>	
--	--	--

5. 展開

回 時間	内 容	準備物	留意点	◆目指す参加者の姿 (評価方法)
【第1回】	<p>多世代交流・ワークショップ</p> <p>【導入】</p> <p>○趣旨説明・ねらいの確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名札 ・受付ボード 	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨説明は事前に参加者の方々へ紙面でお伝えしておく。 	
60分	<p>【活 動】</p> <p>○受付（9:50～10:00）</p> <p>① くるみの森にて、当日お越しいただいている赤ちゃん親子と中学生・高校生・大学生、地域住民の方々で交流しながら過ごす。</p>  <p>② その後、全員で別の部屋に移動。赤ちゃん親子6組にも協力いただき移動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん玩具 ・抱っこひも 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん親子と参加者の交流が促進するようサポートしていく。 ・交流のきっかけになるための玩具や用品を準備。 ・赤ちゃんにとっても良い環境を準備。 	<p>◆これから親になる若者や赤ちゃんを取り巻く地域の様々な世代の方々が子どもと過ごす喜びを知る（プログラムを通しての声の聞き取り、当日アンケート）</p>
60分	<p>○3グループに分かれて座る。</p> <p>① 全員で、はじめの100か月について共有。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ表 ・資料『はじめの100か月「みんなの応援アクション～社会のすべてのみなさんへ』』 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループにスタッフが入り、参加者の気持ちが引き出せるようファシテート。 	<p>◆子どもが健やかに育つために大切なことを知る。</p>

	<p>② グループごとに自己紹介</p> <p>③ わらべうたで交流</p> 		<ul style="list-style-type: none"> ・わらべうたサークルの大学生の方の活躍の機会作り。 	<p>◆わらべうたを通して赤ちゃんの心を育てる遊びや関わりを知る</p>
	<p>④ テーマトーク</p> <p>[テーマ1：ひろばで過ごして感じたこと]</p> <p>[テーマ2：子育ての喜びと大変さ]</p> <p>[テーマ3：子どもに優しいまちになるためにできること]</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードカード (テーマ1, 2, 3) ・テーマトーク記録シート ・筆記用具 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の発言内容を知るために記録シートを活用し、印象に残った内容を把握するようにした。 ・一般論にならず個々に実践できそうなことを具体的に挙げて頂けるようにファシリテートする。 	<p>◆テーマトーク</p> <p>ひろばでの赤ちゃんとのふれあい体験や、赤ちゃんの保護者の体験談などから、社会全体で子どもの育ちを支え合うために、自分にできるアクションを起こしてみたい気持ちになる。</p> <p>(プログラムを通しての声の聞き取り、テーマトーク記録シートの記述、当日アンケート)</p>
10分	<p>【振り返り】</p> <p>○全体共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何人かの方に本日の感想を聞く ・まとめ ・アンケート用紙記入 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート ・筆記用具 		<p>◆ワークを通して参加者自身が自分にできることを考え、実践に向けて意欲が向上する(プログラムを通しての声の聞き取り、当日アンケート)</p>